



●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので 必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●ステー取付けねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

▲注意

- 本製品は、製品重量が最大70kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・必ず $45 \times 100 \text{ mm}$ 以上の窓台(敷居)・ 30 mm 厚以上の間柱(ピッチ 500 mm 以下)で開口部を作ってください。
 - ・指定のねじで枠を固定してください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

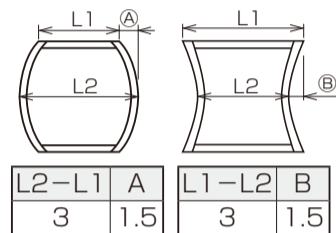
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	ねじは適正トルクで止められているか?	<input type="checkbox"/>
2	後付けビードのコーナー部には切れ目を入れて押込みましたか?	<input type="checkbox"/>
3	後付けビードは余長を持たせて取付けましたか?(目安 1000 mm あたり 30 mm)	<input type="checkbox"/>

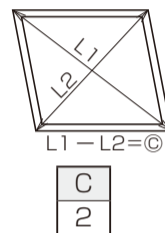
■取付け上のお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- 枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク $1.5 \sim 2.0 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $15 \sim 20 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }にて取付けを行ってください。
- 節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、 $\phi 2.5 \text{ mm}$ 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
- 取付けの際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形することがあります。
- 特殊薄板を使用したトリプルガラス(室内側)に吸着チャック(吸盤)を使用される場合、エッジから 200 mm 以内の位置に吸着して使用してください。ガラスのたわみの影響を受けにくく、安定して取付けることができます。

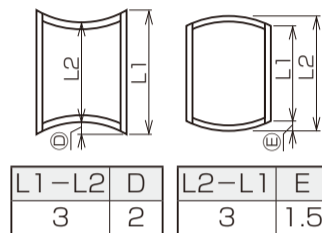
■サッシ枠のフレ・ツツミ



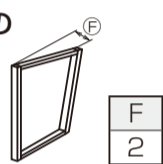
■サッシ枠対角差



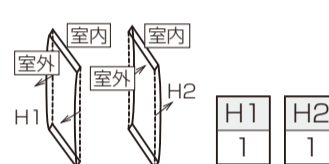
■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



■サッシ枠のねじれ



■サッシ枠の室内外のソリ



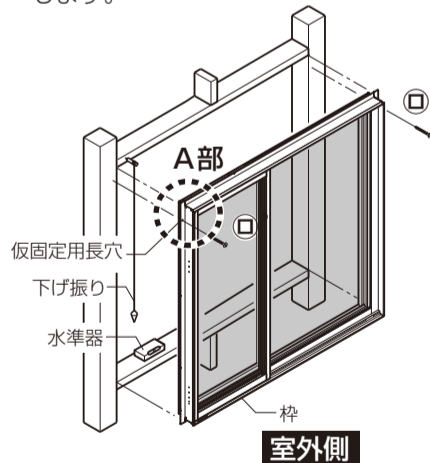
■部品・ねじ一覧表

記号	①	②~③	④	押 縁	
姿 図					
	障子取付ねじ (薄平タッピンねじ) M4×10	枠取付ねじ (低頭ねじ) $\phi 3.1 \times 25$	丸木ねじ $\phi 3.5 \times 25$	上用 / 1本	縦用 / 2本
使用部位	ステー	枠	-		

■枠取付け順序

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に①枠取付けねじで枠を仮止めします。



2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ②を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ③、④を固定します。
※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。枠がこぼれ樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

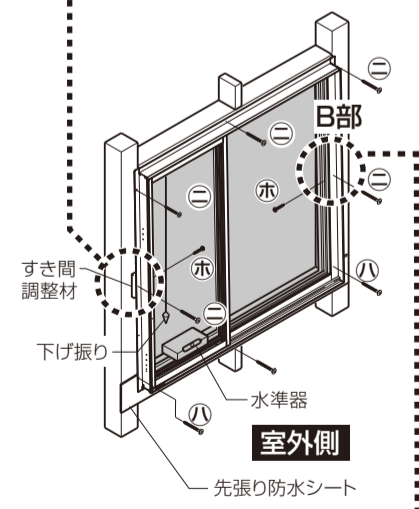
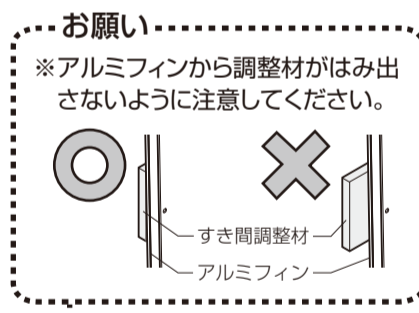
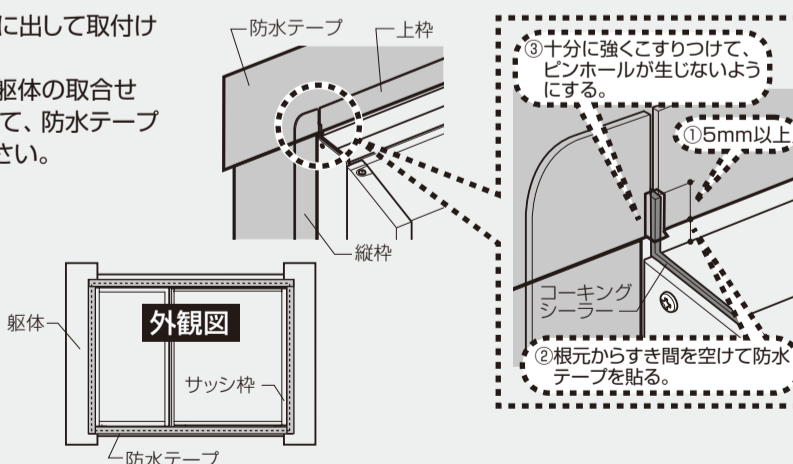
●お願い
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じる原因となります。

▲注意

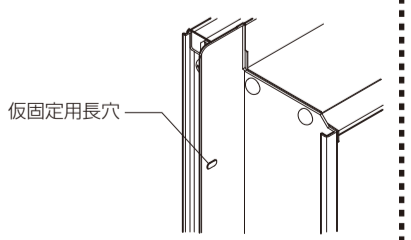
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。

- ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に下記①~③に従って、防水テープ(別売り)を張ってください。

- ①コーキングシーラーに5mm以上重ねる。
- ②根元からすき間を空ける。
- ③ピンホールを生じさせないように必ず圧着する。



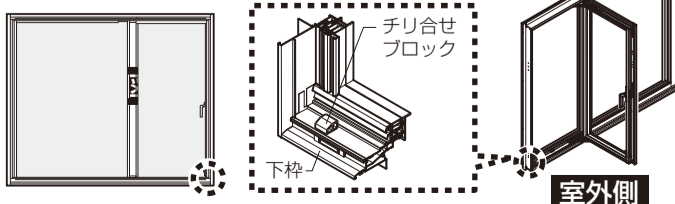
■A部詳細図



■チリ合せブロックについて

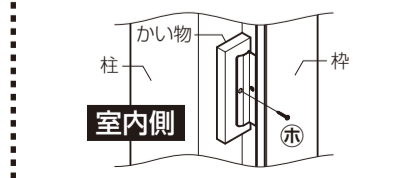
- ※縦すべり出し窓に付いているチリ合せブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。
- ※施工完了後は、必ずチリ合せブロックを取外してください。(窓の開閉に支障が出ます。)

【チリ合せブロック取付け位置】



■B部詳細図

- ※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

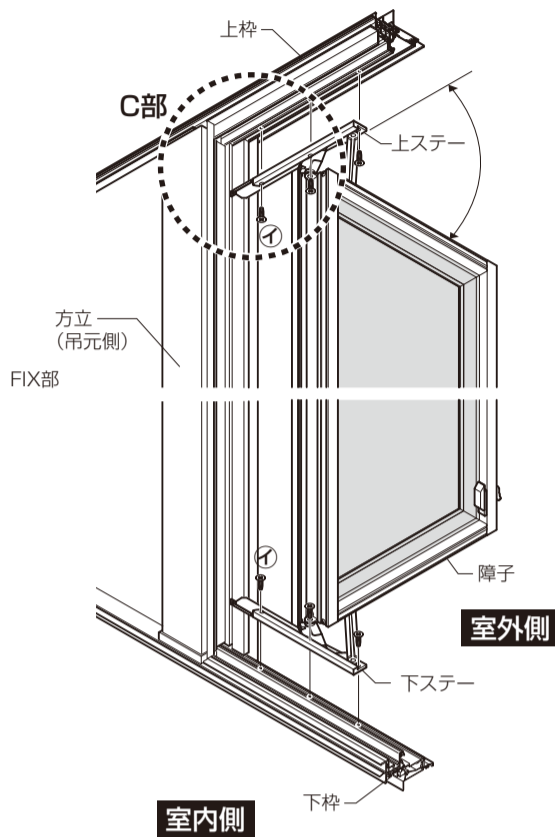


■縦すべり出し窓部の障子の取付け

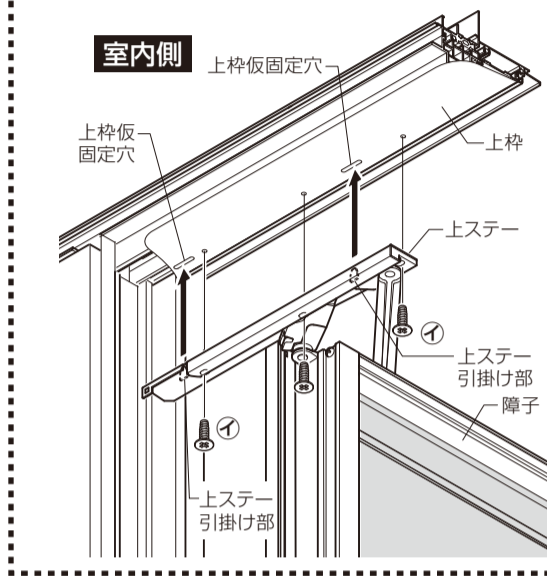
※ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。

- ①障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
- ②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2箇所)
- ③下ステーを下枠にのせます。
- ④下ステーのねじを最初に取り付けます。(障子が仮止めされます。)
- ⑤残ったねじをすべて固定します。

※逆の手順で障子を取外せます。

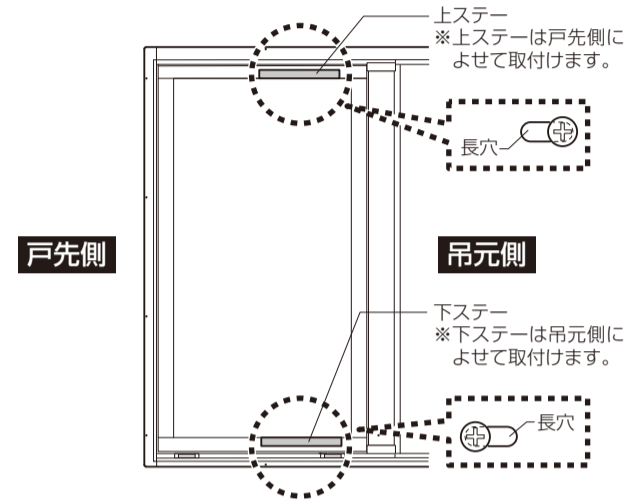


■C部詳細図



■障子の取付け位置

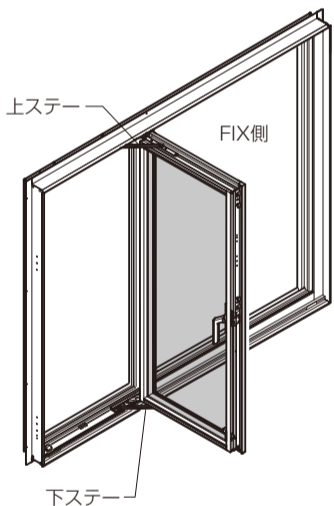
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は下図のように位置決めしてください。



■障子の建付け調整

■障子の戸先が下がっている場合

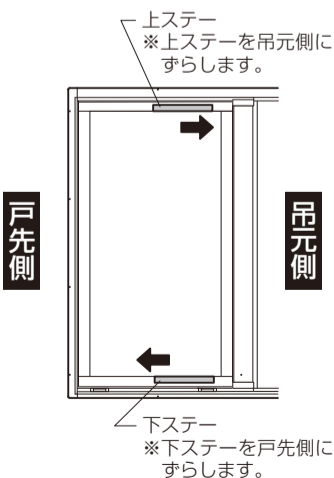
上・下ステーで調整してください。



●上下ステーの調整

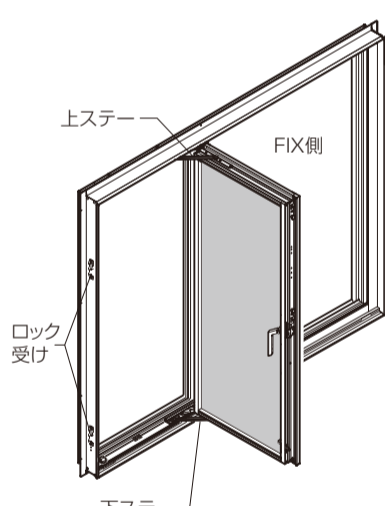
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、下図のようにステーの位置を調整してください。

※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。



■ハンドル操作が重い場合

ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



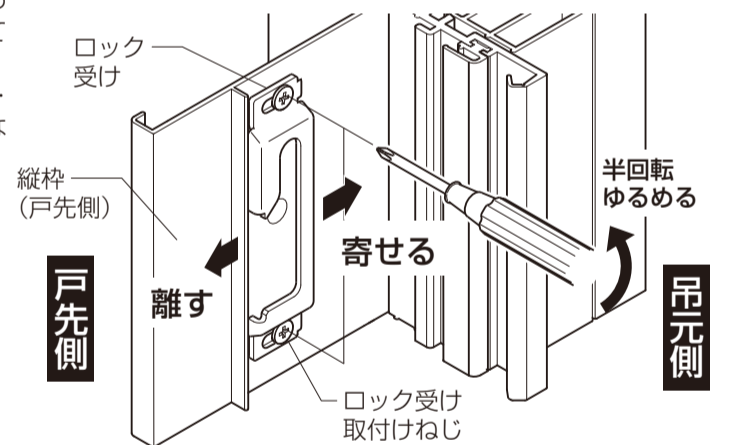
●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。

※ロック受け取付けねじをゆるめ(上下半回転)、位置を調整してください。

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[ハンドルの操作が重い場合] → 離す
[ハンドルの操作が軽い場合] → 寄せる



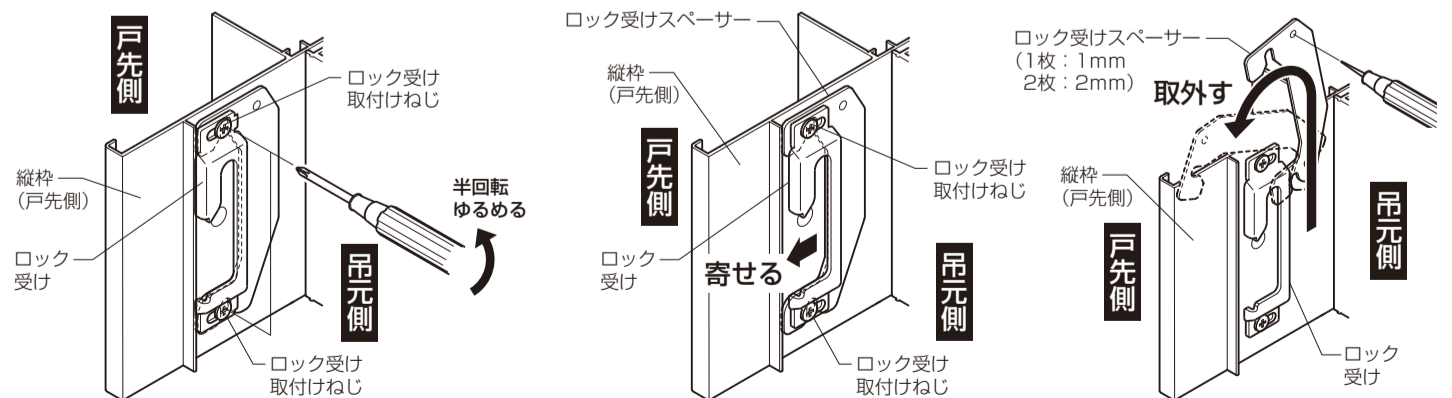
●ロック受けスペーサーの調整

※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。

※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

- ①ロック受け取付けねじをゆるめます。(上下半回転)
- ②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
- ③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。(ロック受けの調整を参照)

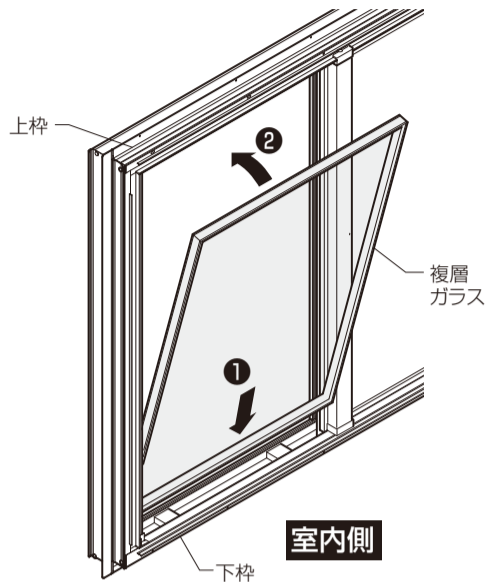
- ※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
- ※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。



■FIX窓部の取付け

1 ガラスの建込み

●下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。

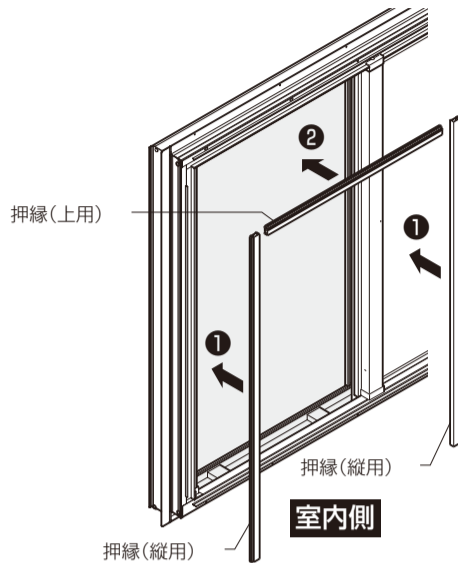


2 押縁の取付け

●縦→上の順に押縁を入れます。

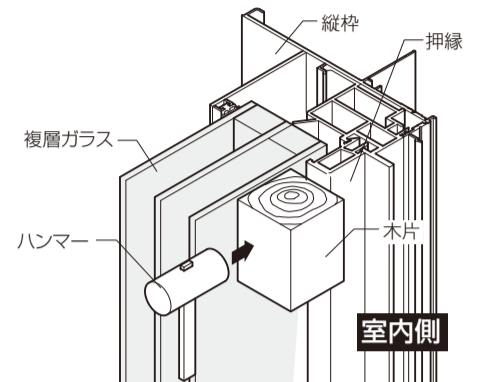
※押縁(縦用)は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。

※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



お願い

●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れることがあります。



3 後付けビードの取付け

●図の①のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押し込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。

[後付けビードの余長の目安 1000mmあたり30mm]

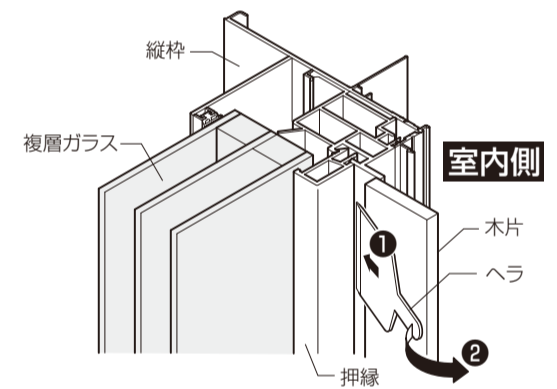
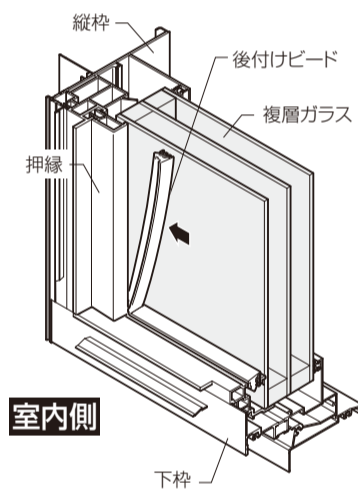
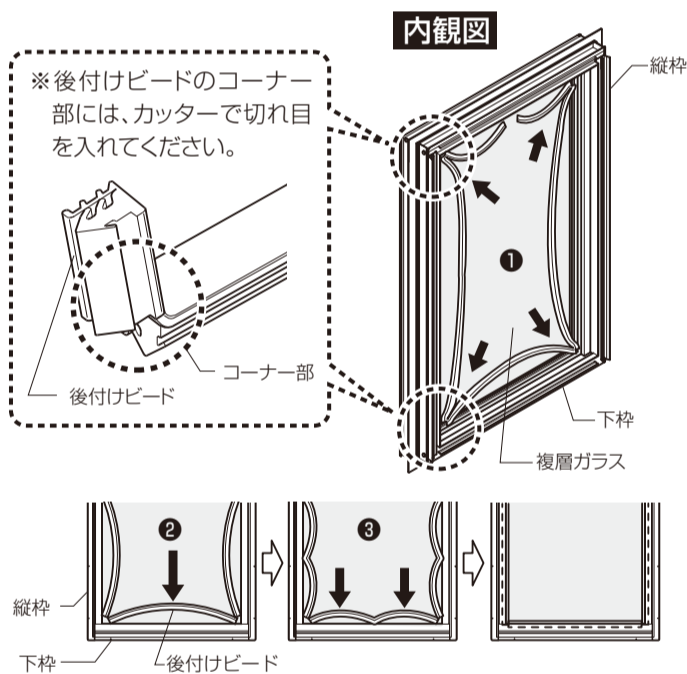
●図の②③のように数箇所、均一にたわむように仮止めしてから押し込みます。

【ビードの押し込みがきつい場合】

後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。

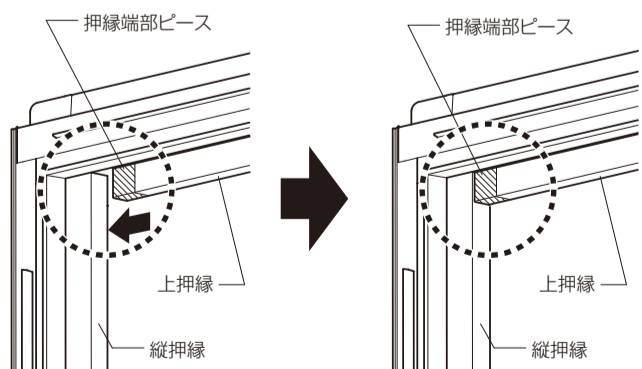
■ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に下図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して左右の押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。)

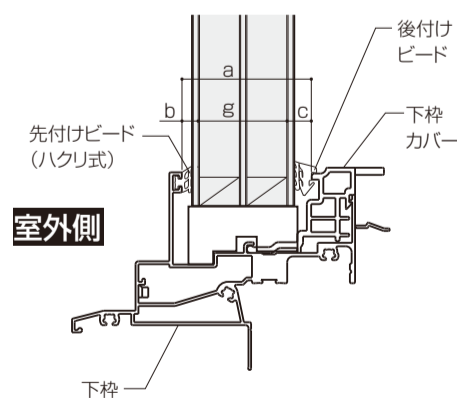


■押縁端部ピースの調整

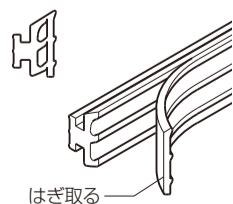
●W2(FIX部)>780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。



■ガラスビードの使用区分



■先付けビードのハクリ方法



■PG(複層ガラス)トリプルガラス(kr) a=34

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売り)
22	3-16-3	4	8
23	3-16-4	3(ハクリ)	8
24	4-16-4	4	6
25	5-16-4	3(ハクリ)	6
26	5-16-5	4	4
27	6.8-16-4 3-10-1.3-10-3	4	3

■トリプルガラス(Ar) a=45

ガラス厚(g)(mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c)(別売り)
35	3-14-1.3-14-3	4	6